

 **Futtsu**
議会だより

No. **143**

平成19年11月9日
Fall 2007

発行／千葉県富津市議会
編集／千葉県富津市議会 議会広報委員会
〒293-8506 千葉県富津市下飯野2443
Tel. 0439-80-1331 Fax. 0439-80-1350



▼富津市佐貫の宮醤油店。天保5年(1834)に創業し、店舗・主屋・脇蔵は明治21～25年にかけて造られました。現在でも敷地内では江戸末期の建物が使われ、伝統の醸造業の姿を伝えています。

◆国の登録有形文化財(建造物)に、富津市から2件が選ばれました!

▼富津市関尻の山静堂診療所。当初は富津市不入斗いりやますに大正期に建てられ、その後現在の所に移築された、丸窓が印象的な建物です。国道465号沿いですが、少し高台にあるため、その存在に気付くことがありません。



9月定例会の内容	2・3P
18年度決算審査の報告	4・5P
代表質問(3会派)	6～8P
個人質問(3名)・議運視察	9～10P
全員協議会・進出企業紹介	11P
トピックス・定例会予定	12P

9月定例会は、9月3日から26日までの24日間で開催されました。議案16件、陳情2件、請願1件、意見案2件について審議を行い、最終日9月26日に全て審議が終了しましたので、その内容を報告致します。



公共土木施設災害復旧費

補正額 1,144万5千円増額

市道相川竹岡線法面崩落した道路が復旧



復旧前

5月25日の雨で崩落しました。



復旧後

9月20日に工事が終わり通行できるようになりました。

コミュニティ事業補助金

補正額 240万円増額

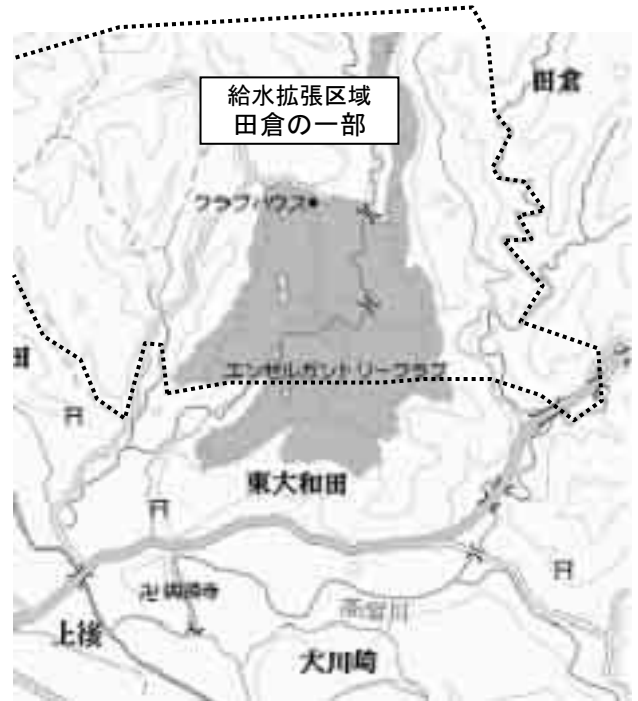
宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に助成を行うことにより、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行うものです。

助成事業

一般コミュニティ助成事業として
小久保仲町の山車の修理等に助成

※水道事業給水条例の一部改正

富津市水道事業の給水区域を拡張
料金等に関する規定等を整備



※給水拡張区域図は、おおよその範囲です
詳しい内容は水道部にお問い合わせください。

拡張の内容について

エンゼルカントリークラブが地下水の不足で営業困難なためエンゼルカントリークラブの全額経費負担で配水管を延伸する。

※請願・陳情

◆請願・陳情件名	採決結果
悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願書	採 択
東京湾アクアラインでの本年度中にもう一段の大幅な値下げによる社会実験を行う事を要請する陳情書	採 択
後期高齢者医療制度を抜本的に見直すよう国への意見書採択を求める陳情書	不 採 択
◆意見案	
割賦販売法の抜本的改正に関する意見書について	可 決
東京湾アクアラインでの本年度中にもう一段の大幅な値下げによる社会実験を行う事を要請する意見書について	可 決

平成19年9月 定例会

※主な補正予算について

乳幼児医療費助成の範囲拡大

本年10月1日から、助成の対象年齢を千葉県の補助対象基準に上乘せして、小学校就学前までに上げます。

補正額（乳幼児医療対策費）
623万4千円増額

助成対象
「○」は入通院が対象
「●」は入院のみ対象

	助成対象							所得制限	自己負担金
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳		
県基準	○	○	○	●	●	●	●	なし	200円
富津市	○	○	○	●	●	●	●	なし	200円



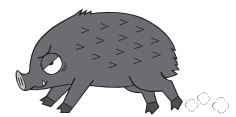
県基準	○	○	○	○	●	●	●	なし	200円
富津市	○	○	○	○	○	○	○	なし	200円

農作物被害対策事業

補正額 67万円増額

イノシシ被害防止用電気柵設置に係る補助金について、設置要望が多かったため当初設置予定12,000mを42,500mに増やし、補助金を500万円から567万円に増額し、富津市有害鳥獣対策協議会に交付します。

事業費 850万円
内訳 県補助金 294万円
市補助金 273万円
受益者負担金 283万円



有害鳥獣による農作物被害の推移	被害金額(万円)			
	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
猿	894	974	888	1,920
鹿	9	0	5	72
イノシシ	2,020	2,096	1,682	3,616

農地・水・環境保全向上対策事業

補正額 316万6千円増額

農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図るため、農業者だけでなく、地域住民、自治会等、関係団体などが幅広く参加する活動組織を新たに作り、これまでの保全活動に加えて、農道や水路などの施設を長持ちさせるようなきめ細かな手入や、農村の自然や景観などを守る地域共同活動を促し、将来にわたって農業・農村の基盤を支える目的で国が進める事業です。

支援交付金 1,265万8千円
内訳 国交付金 632万6千円
県負担金 316万6千円
市負担金 316万6千円

* 交付先団体

- ・ 湊西部環境保全会
- ・ 湊東部環境保全会
- ・ 鹿原地区環境保全会
- ・ 竹岡西部環境保全会
- ・ 中郷恩田地域環境保全会
- ・ 大川崎地域保全向上活動組織
- ・ 大田和資源保全会
- ・ 関地区環境保全会

戸籍電算化事業

補正額 785万4千円減額

この事業は、18年度スタート予定でしたが、セキュリティ対策の検討が必要となり19年度スタートに変更し、債務負担を設定し、平成20年3月に戸籍電算化が一部稼動する事になります。

しました。

決算審査特別委員会委員 (10名)

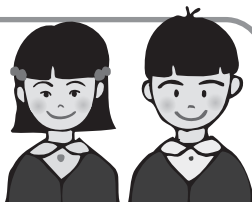
委員長	三平 正昭	副委員長	平野 明彦
委員	竹内 洋	福原 敏夫	中後 淳
	永井庄一郎	澤田 春江	石井 志郎
	岩本 朗	大野 裕二	



価と次年度予算などへの反映を目的に決算審査を行ないます。審査の結果、6会計全てが認定されました。

審査のなかで質問のあった項目のうち、主なものをここで紹介します。

市民福祉のこと



放課後児童健全育成事業

学童保育クラブ3団体（大貫、飯野、青堀）へ補助を行いました。開設日数281日以上が補助基準であり、平均児童数により補助金額が変わります。

家庭相談員事業

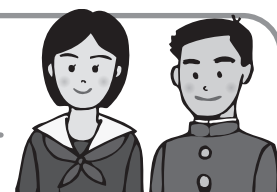
児童虐待問題などの相談を受ける家庭相談員事業は週2回1名の体制で実施されました。事業拡大についての提案がありました。

不採算バス路線の維持・確保

採算の合わない路線バスの維持・確保のために現在多額の経費がかかっています。教習所やゴルフ場など、市内をバス運行する事業者との連携が図れないか提案がありました。



教育のこと



富津中学校校舎改築事業

平成18年度に設計書の比較検討が実施され、事業が進められました。平成20年10月の完成を目指し、順調に工事がすすめられています。比較検討段階や入札段階での事業執行の考え方や、今後の小中学校耐震化事業への影響などについて議論がなされました。

幼稚園の定員数について

定員数を大幅に上回る園児を受け入れている幼稚園があります。幼稚園は県の管轄であり県と連絡を取り合いながら善処したいとの回答がありました。



消防のこと



消防操法大会への支援

市を代表して君津支部大会や県大会に出場する分団は、照明設備や水抜き装置などを分団の負担で準備していますが、支援について検討することになりました。

消防団詰所の整備

多くの消防団詰所が分団統合などで手狭になっています。拡張工事などを円滑に進めるためにも、必要最小限の費用で少しでも早く整備を進めるよう要望がありました。

水道のこと



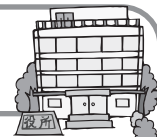
亀田浄水場・水道庁舎の耐震化

現在の建物は昭和48年に建築されたもので老朽化が進んでいます。耐震診断の結果、すぐに耐震化工事が必要な状況ではないことが分かりました。

石綿管の更新について

市内の水道管には18年度末で130km (30%) の石綿管が使われています。石綿管による健康被害はありませんが、漏水箇所を中心に年間約1kmずつ更新していく予定です。

市役所のこと



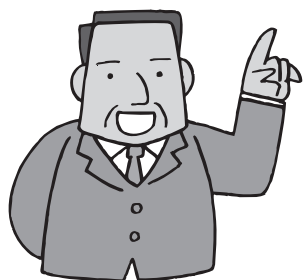
職員の採用計画について

早期退職者の増加により、新規採用職員数が18名から25名に増員されました。年齢構成の平準化など、長期的な視点で採用を考えるよう意見がありました。

行政情報化の推進

電算業務委託料がのきなみ増額になっており、委託料の適正化について指摘がありました。

平成18年度の決算を審査



決算書、成果報告書、監査報告書をもとに、議会中に設置された決算審査特別委員会において、平成18年度決算の審査を行いました。富津市では一般会計のほか、3つの特別会計と2つの企業会計の計6会計があります。

議会では、監査委員による数字や関係書

類等の吟味・精査（監査報告書として提出）とは異なり、予算が適正に効率的に執行されたかどうか、それによってどのように行政効果が発揮できたか、それをうけて、今後の行財政運営においてどのような改善工夫がなされるべきであるかについて、さまざまな角度から質問することで、事業の評

平成18年度決算

(単位：万円)

会計名	当初予算額	決算額			
		歳入	歳出	差引額	
一般会計	1,544,684	1,575,942	1,510,955	64,987	
特別会計	国民健康保険事業	568,300	582,983	568,420	14,563
	老人医療	432,351	414,376	413,876	500
	介護保険事業	298,464	300,084	283,557	16,527
会計名	当初予算額	収入	支出	差引額	
企業会計	水道事業会計	153,765	144,611	145,206	▲595
	収益的収支	154,973			
	水道事業会計	40,496	28,596	65,236	▲36,640
	資本的収支	79,981			
	温泉供給事業	124	124	203	▲79
収益的収支	238				
温泉供給事業	3	0	0	0	
資本的収支	3				

※企業会計の当初予算額は上段が収入、下段が支出です。
 ※水道事業会計収益的収支は消費税及び地方消費税を抜いた額です。

平成18年度徴収状況

(単位：万円)

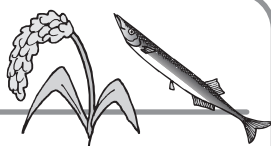
税目	調定額	収入済額	収入未済額
市民税	326,589	297,736	25,773
固定資産税	646,077	584,042	54,744
国民健康保険税	287,020	197,815	80,207
介護保険料	54,142	52,046	1,612

調定額：決定した税額等
 収入済額：納入された税金等
 収入未済額：未だ納められていない税金等



納税は国民の義務です！
 ちゃんと納めましょう。

産業振興のこと



漁港整備事業

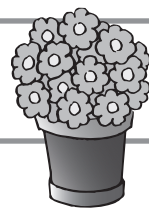
毎年多額の費用をかけて行われる堆積砂の除去について、抜本的な解決方法がないのか質問がありました。

農作物被害対策事業

毎年規模・範囲が拡大しているイノシシ被害防止対策は、銃器、檻による駆除・捕獲と電気柵設置により実施しています。電気柵については設置基準の見直しを行いました。引き続き事業を継続していきます。



環境のこと

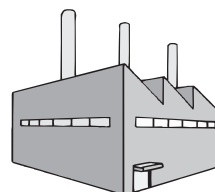


クリーンセンターの稼働

平成18年度からし尿と浄化槽汚泥の処理を行うクリーンセンターが稼働しました。これまでの海洋投棄と比べ、海洋汚染の防止と約3億円の処理料軽減を図ることができました。

かずさクリーンシステムの焼却灰

四市のごみ焼却を行うかずさクリーンシステムで発生する焼却灰の処理について質問がありました。これまで利用していた大平興産大塚山の産廃処理場が営業停止中のため、富津市分のみ新富の産廃処理場で処理しています。(他3市は長野県まで搬送しています。)



収支見通しと第2次実施計画について



鈴木 敏雄
議員

環境問題について



長谷川 剛
議員

問 平成20年度、21年度の収支見通しについて伺いたい。

市長 平成20年度は8億6千万円、平成21年度は4億8千万円の不足が生ずる。都市計画税は、厳しい社会経済情勢を考えると、導入できざる状況ではないと認識している。

問 個人市民税や、法人市民税などの平成19年度の見通しは。

市民部長 法人市民税、大規模償却資産の減額等、全体的には税源移譲がなければ実質的には減少すると思われる。

問 平成20年度、平成21年度の財源不足はどう補填するのか。

企財部長 徹底した歳出の削減、自主財源の積極的な確保、遊休市有地の売却等、有効利用を図る。

問 幹線1号、2号及び3号線の進捗状況は。

市長 1号線は国、2号線は県に要望している。3号線については、上飯野地先が終了後、本郷バイパスに着手したいとのこと。

問 幹線2号線用地取得について土地開発公社を利用できないか。

市長 先行取得を考えていく必要があるのではないかとと思う。

問 県道大貫青堀線の歩道設置と、やまと前交差点改良について。

建設部長 現状の精査と県及び関係機関との協議を進めていく。

問 消防本部庁舎整備構想は、いつ頃までに方向性を出すのか。

消防長 現庁舎に係る補強の調査結果が1月末位に出るので、その結果を見て判断したい。

問 雇用対策の促進について。

市長 平成16年度から11社が進出されているが、市民を最優先で雇用して頂けるようお願いしている。

問 著名な、また人気のある浜田幸一さんにふるさと観光大使をお願いして市のPRをしていただきたらと思うが。

市長 観光振興、市政推進について、ご助言を頂けると思うので調整をさせて頂きたい。

問 異常気象が世界・日本で起きています。人類存亡がかかっている地球温暖化等環境問題についてまず、富津市環境基本計画の基本目標の考え方を伺いたします。

市長 計画では市民・事業者・市が行う具体的な行動を明らかにし、推進・啓発、場合によっては指導し目標達成に努力をしていく。

問 今夏の富津市の最高気温・熱中症による救急出動件数・対応策について伺いたします。

消防長 八月七日十四時に三十五・一度を記録した。救急出動件数は十六件・十八名です。十八年は六件。十七年は十二件でした。防災行政無線による予防広報等を実施したい。

問 富津市は水不足の心配はないのでしょうか伺いたします。

水道者 広域水道企業団からの受

水と自己水源で十分余裕がある。

問 熱中症対策をお聞きします。

健福部長 啓発ポスター・広報紙へ掲載、保健指導時や民生委員のご協力を頂いて高齢者に注意啓発したい。障害者施設や保育所、幼稚園、学校等でも啓発を行いたい。

問 猛暑による農水産物の影響は。

経環部長 影響の報告は特に無い。

問 小中学校での環境教育は。

教育長 体験活動を通して環境を大切にする実践的な態度の育成を目標にして実施しております。

問 猛暑での部活動等の対応は。

教育長 教育委員会として学校現場に十分指導をしている。今後とも注意・啓発をしてまいります。

問 環境に配慮した街づくりは。

建設部長 生活環境・大気保全を図っている。今後は道路騒音や排水等道路環境を考慮していきたい。

問 富津市環境基本計画を市としてどのように進めていくのか。

経環部長 関係部局で構成する環境基本計画推進委員会を設置し全庁的な体制のもと目標達成に向け努力してまいります。

県道大貫青堀線の現状



歩道設置が望まれる県道大貫青堀線



富津市環境基本計画が策定されました。

* 富津市議会には、現在3つの会派(賢政会、新世紀の会、正誠会)があります。この会派の代表として行う質問が、代表質問になります。代表質問の時間内(質疑・応答で120分)であれば、同じ会派の人が関連質問をすることもできます。

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
 企財部長(企画財政部長) 健福部長(健康福祉部長)
 経環部長(経済環境部長) 水道者(水道事業管理者)

まちづくりと道路整備について

新世紀の会



鈴木 幹雄
議員

問 幹線道路の整備について。

市長 幹線道路は本市の総合的なまちづくりを行う上から重要な役割を担うもので、富津市幹線道路網計画により南北軸3路線の強化を主体に、これを補完する13路線の計16路線の整備が必要である。そこで国道や県道の整備については、国並び県に対し要望し続け、市道等に有機的につながる様、推進していく。

問 生活道路の整備について。

市長 生活道路については、地域の産業活動や市民の日常生活における利便性を図るため、幹線道路と有機的に接続するように緊急性や危険度を考慮しながら整備を進めている。

問 幹線道路の課題と問題点、また今後の取り組みについて。



全面開通に向け整備が進められている都市計画道路川岸富津公園線

建設部長 幹線道路と市道が有機的につながり、道路としての機能が発揮されなければならないが、千葉県の現況は、予算が年々減少しており、道路整備が遅れている。市は今後も引き続き各路線について、県に対し要望をしていく。

問 市道君津駅前線と本郷バイパスをどう関連づけるのか。

建設部長 県道大貫線の上飯野地区の整備終了後に本郷バイパスに着工すると聞いている。

問 生活道路の課題と問題点、また今後の取り組みについて。

建設部長 生活道路は、地域の産業活動や市民の日常生活に密着した道路であり、利便性、安全性、機能などを配慮し、整備を進めていく。

問 湊数馬線の歩道について。

建設部長 内房バイパス開通後の交通量調査もまとまり、7月に富津警察署に説明し、現在協議している。

問 事業の優先順位について。

建設部長 優先順位は、重要性、緊急性、効果、実現性などにより決定する。現時点では事業計画に基づいて、市民の要望に答えられる様、努力していきたい。

館山道へのバス停設置等施設整備について

新世紀の会



中後 淳
議員

問 高速バスターミナル・バスストップ整備の考え方は。

市長 青堀周辺の国道16号系の検討を優先。館山道の全線開通により浅間山周辺の国道127号系も引き続き検討していきたい。

問 16号系の整備の考え方は。

企財部長 ジャスコ前のふれあい公園で検討したが、効果が薄いと結論づけた。現在、大堀東電の土地と五洋建設が埋立を進めている土地の2か所で検討を進めている。

問 館山道全線開通により、館山方面からの高速バスは大幅増便されたが、竹岡・湊に停まるバスは相当数減便になった。バス事業者との協議が整っているとのことだが、現状をどのように考えるか。

企財部長 バス事業者に減便しないよう要望が必要であり、他の方法も考えなければならないと思う。

問 バスが高速を下りずに利用できる高速上のバス停(バスストップ)について再度検討できないか。

企財部長 企画財政部として検討する。

問 バスストップ設置に向けてすべきことは。

企財部長 浅間山周辺の開発との整合性をとる必要がある。周辺の土地を持つ企業の思惑と市の思惑が合致すれば思ったより早く解決することも考えられる。

問 学校施設の耐震化について。

教育長 本年度優先度の高いものから耐震診断を実施し、その結果耐震補強が必要な学校について耐震化を進めていく。

問 多くの大規模な施設や道路の整備事業が計画・検討されているが、市全体の将来設計図についてどのように考えればよいか。

企財部長 事業により進捗状況が異なり、金額まで分からないものもある。基本計画・実施計画に財源まで含めて計上し、それを実行していくことしかできないと、今の段階では考える。

上総湊バス停



館山自動車道全線開通により高速竹岡と上総湊駅前には上り6便下り7便が減便になっています。

観光・地場産業の振興、広告収入の取り組み、有害鳥獣被害の対策



大野 裕二
議員

問 館山道の開通後2ヶ月が経過したが、この影響は。

市長 市内各観光施設や宿泊施設への影響は特に変化はなく、国道127号沿線は、コンビニやGSなどの来客が減少したと聞いている。

問 大きな観光施設については増えているという話もあるが、それ以外の部分についての開通前の見通しと現状は。

経環部長 当市には自然豊かということでお客さんが来ている。夏場の状況ではお客さんが結構入っているのですが、数字的にはあられ

ていない。

問 海水浴場については。

経環部長 全体では7万985人で9・61%減となっている。

問 市内観光に関して、富津市の持っている海岸線の活用が重要だと考えているが、この活用には何が必要か。

経環部長 海岸線40数キロの中で、砂地もあれば岩場もあるが、漁協の理解も必要になってくる。

問 砂場について、全体的に海岸が汚く、来客者の話を聞いても「汚い」という話を耳にするが。

経環部長 海水浴場は開設前にビーチクリーナーで清掃する。また地域のボランティアに協力してもらっているところもあるが、夏場が中心となっている。

問 ビーチクリーナーをもっと活用できないか。

経環部長 現在、市で保有しているものは大型であるため、運搬に手間と費用が掛かる。年数も経っているので新しいビーチクリーナー等についても、資料・カタログ等を取り寄せた中で、現実的にどう対応できるのか進めていきたい。

問 岩場について、活用するため



市の南部には家族で遊べる海岸が豊富にあります



市内の海岸に打ち上げられたゴミ

に問題はないか。

経環部長 漁業権を侵すという問題がネックになると考える。

問 その他に、気軽に車を停められる場所が少ないと感じる。これではせっかく磯場があってもただ通り過ぎるだけになってしまうと考えるが。

経環部長 確かにスペースは少ないが、中には少ないスペースの中に停めて海においている方もいる。土地の所有者もいるので、その辺も調べなければいけないと考えている。

問 以前質問した広告収入の取り組みについて前向きな検討がなされたか聞いているが。

市長 現在、他市の状況や資料収集を行っている状況であり、今後

庁内全体で検討する必要があると

考えており、新たな財源確保の面からも可能なものから導入を図っていきたい。具体的には市ホームページへのバナー広告の掲載を実施することにし、年度内の導入を目指したい。

問 ホームページ以外のものについての詳細は。

企財部長 広報紙への広告は、紙面のページ数や広告枠を確保するというところで、現状では困難であり、仮にページを増やすとその費用がかさみ広告収入と比較するとどうかという問題が提起されている。

問 ホームページでの取り組みについての目標設定や効果については。

企財部長 富津市のホームページでは3×5スペースぐらいのバナーを張ってもらうような方向で考えている。

問 有害鳥獣対策について、イノシシ捕獲用のおりの購入が19年度予算にあるが、現状で未執行だがこの理由は。

市長 本年度、富津市有害鳥獣対策協議会が事業主体として直接国から補助金を受けて実施する鳥獣害防止対策事業が採択され、おりを購入することになっているので、市購入分については対策協議会と協議し進める。

財源の確保、税制改正、 区画整理地の活用

問 財源の確保についての考えは、市長 賦課、徴収の動向については、特に今年度は個人住民税所得割の税率10%フラット化や、定率減税の完全廃止等による課税額の増額に伴い、滞納額の増加が見込まれる。このため、徴収対策の取り組みについては、年度初めに市税等徴収対策本部会議を開き、年間の徴収対策基本方針と徴収計画を定め、市税収入の確保に努め、従来の徴収体制をさらに強化するため、納税課職員を1名増員し、新たに差押えを主とする特別整理班を設置し、取り組んでいます。

加えて、今年度は千葉県滞納整理推進機構が設置され、3名の県

職員が5月から3ヶ月間、富津市に勤務し、市職員と協働で滞納処分を前提に滞納整理を実施、8月以降についても、随時、協力いただける。今後も徴収の公平性と財源の確保に向けて、努力をします。

問 税制改正による影響額は、**市民部長** 税制改正により、個人市民税が10%フラット化し、今までは13%の方は、10%に低くなり、7%、5%の方は、10%に引き上げになる。その代り所得税はその分下つていきます。しかし、所得税は1月から引かれますが、住民税は時期が違い6月からになり、また所得も「年度」と「年」ということで違つてきています。1年遅れの面もあり、市民の方にとっては住民税が高くなった。普通徴収の方は、3月の申告時期にならないとメリットが出てこない。

問 青木土地区画整理事業の見通しは、**建設部長** 青木土地区画整理事業は、事業の収束に向かい、組合ともども努力しております。その中で、大規模商業施設というようなことの関係もあり、位置づけをしながら、現在、県と協議を進めています。



福原 敏夫
議員



大規模商業施設の建設が予定されている青木区画整理地の土地

後期高齢者医療制度での 資格証明書発行に、市の対応は

問 後期高齢者医療制度は、国保制度と同じように、保険料を滞納すると資格証明書、短期保険者証を発行することを義務付けています。しかし、75才以上の高齢者は、病気になる比率、入院比率が高く、国民年金受給者が多いこと又、制度そのものが、医療給付費が増えれば、後期高齢者の保険料の値上げにつながる仕組みであることから、資格証明書の対象となる人が増加することも予想されます。市としてどう対応するのか。

市長 75才以上の高齢者医療については、平成20年度から「千葉県後期高齢者医療広域連合」が保険者として運営を行います。保険証や資格証明書の決定は、「広域連



岩崎 二郎
議員

合 が行い、市町村独自の対応でなく、県下一律の取扱となります。現在、広域連合で、保険料の減免あるいは徴収猶予とあわせて資格証明書の取扱いについて検討中で、その案が示された時点で、内容を精査した中で意見等を出したい。

問 保険料の支払については、現在、国民健康保険は世帯単位ですが、後期高齢者医療制度では、75歳以上の人は全員個別に払うことになりました。したがって保険料を払わない人には、罰則規定で資格証明書となります。(現在は、75才以上の人には、資格証明書の発行はできません) 高齢者の現状は、**健福部長** 後期高齢者の人口は約六千七百人で、一般徴収の対象者は約一千人と把握しています。なお無年金者については、現在のところ把握していません。

問 今、保険料を含め制度の検討中とのことですが、市として保険料に補助金を出す考えはないか。**健福部長** 保険料については、加入する被保険者の所得の分布状況を勘案して設定され、さらに所得の低い方に対する保険料の減免措置も設けられます。市独自に保険料を補助する制度は考えていない。



天羽養護老人ホーム
定員80名 100歳の人も元気でいます。

地方分権の進展に伴う簡素で効率的な運営について



岩本 朗
議員

問 地方分権の進展を今後どのように活かしていくのか、また、簡素で効率的な運営についての考え方について伺います。

市長 地方分権が進展し、拡大・多様化する市民ニーズに対しては従来の発想にとらわれず、既定の事務事業や施設管理、民間活用によるサービス提供事業などについて、公と民の役割の分担を含めて見直し、市民との協働の上に立った行政運営に取組んでまいりたいと考えております。

問 ボランティア活動、NPO団体に対する協力、支援について伺います。

市民部長 行政として、お手伝いできる部分、会議室を提供すると



庁内に設置されている業務用パソコン

か、事務局の連絡をお手伝いするとか、節度のある自主性を損わないような形で協力をしたいと考えています。

問 支援の例として、市役所一階に活動状況紹介のコーナーを設ける、「広報ふつ」で紹介するといった支援について、どのように考えているのか伺います。

市民部長 た、今の例を参考にしながら、行政としての支援の仕方を考えてまいりたいと存じます。

問 業務システムの導入及び運用に要する経費等の調査結果の活用について伺います。

市長 公開されている調査結果の内容では、システムの維持に要している経費が適正であるかを判断できるものではありませんが、調査結果の内容を精査し、参考資料として活用してまいりたい。

問 富津市の電算システム運用経費の妥当性について伺います。

企財部長 調査結果から、類似団体と比較した時に何の経費が高いのか、どういったシステムの部分が高いのか、これをまず、ひとつ項目といたしまして、その中身について、他団体との比較を検討してみたいと考えています。

議会運営委員会から

議員の質問席を改修

今までの質問席は、1回目の質問を議長席前の質問席で議員席に向かつて質問をし、再質問を議員席前段の質問席から執行部と対面して質問する一問一答方式を取り入れておりましたが、1回目の質問が議員席に向かつて質問するのは変則的であるため、9月議会より1回目の質問から議員席前段の質問席より執行部に向かつて質問する完全な対面型の一問一答方式を採用するに伴い、議員席前段の質問席のマイク及び質問台の改修を行いました。



改修された議員質問席(中央枠部分)

議会運営委員会の行政視察報告

議会運営委員会は、去る7月17日、18日の両日、長野県須坂市議会の議会運営を視察しました。
 須坂市は、人口約53,600人、面積約150平方キロメートル、議員は20人です。議会改革の取組みとしては、議員の資質の向上を図るため、年2回外部から講師を招き研修会を開催、地球温暖化防止の観点からハイブリッド車への変更、開かれた議会作りの一環として、出向き委員会を試行するなど、議会改革に取り組んでおり大変有意義な視察をしました。



長野県須坂市へ行政視察

全員協議会からの報告

環小学校と環南小学校の統廃合について

平成16年9月 小中学校の適正規模・適正配置の検討を始める。
 平成19年4月 志駒・山中地区の保護者・市民の総意として、環南小学校の統合を了承。
 5月 峰上地区区長、環小学校PTAに統廃合の経緯説明。
 8月 平成20年4月を目途に統合を教育委員会にて承認。
 12月議会にて、条例改正の予定。
 *環南小学校以外の統廃合は、平成20年秋の富津市小中学校統廃合検討懇談会の提言を待ち、平成21年3月までに方向性を決定。

君津中央病院の診療体制について

医師不足のため、11月から泌尿器科が、休診となります。
医師確保状況

平成18年4月／平成19年9月	正規常勤医	102人／	96人
	研修医	4人／	13人
	パート医	6人／	9人
合計		112人／	118人

富津中学校校舎改築工事進捗状況

平成19年1月、1期工事（教室棟）開始
 4月 基礎工事
 9月 内装、外装の仕上げ
 10月 1期工事（教室棟）完成
 10月末 新校舎で授業開始
 11月 2期工事開始（特別教室棟）
 平成20年10月末2期工事終了、引渡し予定。



富津中校舎工事 全景

企業誘致の現状レポート

九月十一日の本会議終了後、企業誘致対策特別委員会が第四委員会室にて開催されました。委員会では企業誘致の進捗状況と引き合い中の企業の説明（リサイクル企業を中心として現在六社が検討中、又は県と協議中）が行われました。午後からは工場の建屋と事務棟が完成した東港金属㈱、工場と事務棟が完成し製品ヤードが一部操業を開始した㈱アイテック、工場を建設中の㈱眞正、住友重機械モダ㈱等と羽田再拡張関係J.V等の現地視察を行いました。



東港金属㈱



㈱アイテック 事務棟



㈱アイテック

平成21年4月完成予定 リゾートビル富津

国道127号線沿い、君津市境付近までの西側内陸部において
リゾートビル富津(仮称)の開発が進められています。



造成工事中のリゾートビル富津



開発計画は、東西2km、南北1kmにわたる141.9haの
広大な敷地内に、ゴルフ場と分譲戸建別荘、コンドミニ
アムなどを組み合わせた国内でも例の無いレジャー施
設になります。

平成8年から開発が始まり、一旦は景気の低迷により
中断していましたが、今年3月から開発が再開し、平成

21年4月の完成に向けて現在急ピッチで工事が進め
られています。

富津市にとっても、税収増、雇用促進、知名度アッ
プなどさまざまな面で大きな期待が持てる事業であ
ると思います。



スポーツの秋を満喫！ ふれあい スポーツフェスタ 2007

市民手作りのスポーツイ
ベントを目指し、平成13年から毎年
実施している「ふれあいスポ
ーツフェスタ」が、10月7日(日)に市民
ふれあい公園で開催されました。

今年は天候にも恵まれ、さま
ざまな競技に、多くの市民が参
加しました。日頃からの体力づ
くりの大切さを再認識した方も
多かったのではないのでしょうか。



「いざの時」のために！

富津市総合防災訓練が、市民ふれあい公
園の自由広場で、9月2日(日)に実施されま
した。この訓練は、市民参加の実践形式に
重点が置かれ、今回は青堀地区が対象とな
りました。普段あまり使わない消火器や、
チェーンソーなども体験し、貴重な訓練と
なりました。

地方独自の価値観を創
るべきだろう。都会のカ
オスのようなエネルギー
でなく、太陽のような温
かさやゆたかりとしたリ
ズムを持つエネルギーを
生み出していかなければ
ならないと思う。(あきひこ)

▼編集後記
久しぶりに東京の空
気を吸ってきた。東京も
つエネルギーの凄まじさ
に、今更ながらに感心す
る。そんなエネルギーに
巻き込まれて、地方は疲
弊しているんだとも思う
。確か、吉田茂だと思っ
た。均衡ある国土の発展
を目指す国土総合開発計
画に対して「違いがあつ
て当たり前ではないのか」
と答えたそうだ。

*日程は変更になることがあり
ますので、議会事務局まで、お
問い合わせ下さい。
閉会

12月定例会日程
11月30日(金)10時開会
議案の上程
6日(木)10時一般質問
7日(金)10時一般質問
10日(月) 予備日
11日(火)10時 議案質疑
12日(水) 常任委員会
13日(木) 常任委員会
14日(金) 常任委員会
18日(火)10時 委員長報告
議案審議